

令和6年度事業計画書

当事業計画は、定款第3条（目的）と第4条（事業）に基づくものです。

I. 国立歴史民俗博物館の事業への援助・支援

1. 調査研究活動等の援助

公益目的事業としての学術・教育研究の奨励を目的とした調査研究活動経費の援助

2. 広報普及活動の支援

- (1) 友の会会員が中心に行っている「寺子屋」でのボランティア活動の支援
- (2) 友の会が行う国立歴史民俗博物館主催の「歴博映画の会」開催への協力として、広報物（チラシ）の作成及び配布

II. 歴史民俗関係の図書等の出版、発行、頒布

1. 国立歴史民俗博物館展示図録の発行・頒布

- ・企画展示「歴史の未来 - 過去を伝えるひと・もの・データ -」
(会期：令和6年10月8日から12月8日)
- ・企画展示「時代を映す錦絵 - 浮世絵師が描いた幕末・明治 -」
(会期：令和7年3月25日～5月6日)

2. 国立歴史民俗博物館資料図録の発行・頒布

- ・資料図録14

3. 国立歴史民俗博物館ガイドブック（和文）の増刷

III. ミュージアムショップの事業

1. 展示のテーマに合わせて品揃えした書籍など商品の仕入・販売

2. 国立歴史民俗博物館所蔵の各種資料をアイテムとして作成し、広く普及を図る

3. 博物館の相互の振興と発展を目的とし、全国の歴史系博物館と図録の相互委託販売を行う

4. 販路拡大と普及サービスを目的とした「ネットショップ」の運営

5. 書店でブックフェアを開催

IV. 友の会事業の実施

1. 「友の会ニュース」の編集・発行・配布（年6回・隔月）
2. 維持会員、普通会員へ会員特典として『REKIHAKU』を配布（年3回）
3. 維持会員へ企画展示図録を配布
4. 「友の会行事カレンダー」の編集・発行・配布（年2回）
5. 友の会ホームページの管理・更新
6. 国立歴史民俗博物館の教員を講師に迎え、友の会講座を開催（月1回）
 - (1) 歴史学講座
 - (2) 情報資料学講座
 - (3) 考古学講座
 - (4) 民俗学講座
7. 国立歴史民俗博物館の教員を講師に迎え、オンラインにて古文書講座を開催
 - (1) 古文書講座「イチから学ぶ古文書」（月1回）

初心者を対象に、くずし字を読み解くための基礎知識を学ぶ。
 - (2) 古文書講座「古文書を読み解く」（月1回）

江戸時代の日記や手紙などを用いてくずし字を読み、そこから浮かび上がる歴史や文化について学ぶ。
8. 友の会会員への講演会
国立歴史民俗博物館 館長特別講演会（年1回） 2月22日（土）
9. 見学会（会員が会員のために行う見学会）
 - (1) 5月9日 房総風土記の丘
 - (2) 9月20日 市原市（国分尼寺跡、稻荷山古墳など）
 - (3) 11月12日 神宮外苑・青山霊園から乃木神社
 - (4) 1月28日 江戸城三十六見附を歩く第2弾（数寄屋橋門から雉子橋門へ）
 - (5) 3月6日 銚子周辺バス見学会
10. 自主学習会
 - (1) 古文書学習会
歴博所蔵の文書を会員同士で読み解き、時代背景を考え輪番制で発表する。
 - (2) 近現代史読書会

輪番でテキストの要約・補足説明をする。日本のみならず、アメリカの近現代史にも取り組む。

(3) 近世史読書会

近世史を扱うテキストをもとに、会員が輪番で要約・発表を行う。

(4) 古代の東国探訪学習会

古代の東国の枠に縛られず、自由に考古・歴史の学習結果・自説を持ち寄って発表・討論をする。

(5) 旅と街道学習会

街道の歴史や役割、地理、民俗などについて資料収集や現地を訪ね、調査・発表をする。

(6) 日本の民俗を訪ねる学習会

輪番制による自由なテーマで学習結果を発表・討論する。

(7) 総合展示物学習会

歴博の展示場から、関連資料を読み解き情報交換をしながら日本の歴史を学習する。

(8) 先史・古代学習会

旧石器～平安時代について、輪番制で各自が学習した内容を発表し、意見交換をする。

(9) 日本の中世を探求する学習会

室町時代を学習する。テキストの要約・発表を行い、意見交換をする。

1 1. 観桜茶会 → 取り止め

1 2. 会員向けオリエンテーションの実施

友の会運営委員会総務部会による新規及び既友の会に会員対して、友の会行事に積極的に参加できるよう、友の会活動状況・行事参加の方法等を紹介する。

1 3. 友の会会員限定のギャラリートークを開催

企画展示、特集展示の展示代表の先生による会員限定の展示説明会を開催する。

1 4. 歴博歴史の旅を開催

国立歴史民俗博物館の教員の講師にむかえ、2泊3日の研修の旅を開催する。

「アイヌ文化を学び、北海道・北東北の縄文遺跡群をめぐる（仮）」

1 5. バックヤード見学会を開催（新規企画）

博物館の裏側を見学し、資料・保存・展示への理解を深める。